よい子 つよい子 できる子

妙高市立新井小学校　学校たより９月号　　令和８年９月 28 日

よりよい学校づくりに向けて－前期学校評価から－

新井小学校では、子どもたち一人一人が健やかに成長し、充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動を定期的に振り返り、今後の取組に生かしています。７月には、保護者の皆様から「教育活動に関するアンケート」にご協力いただきました。お忙しい中、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

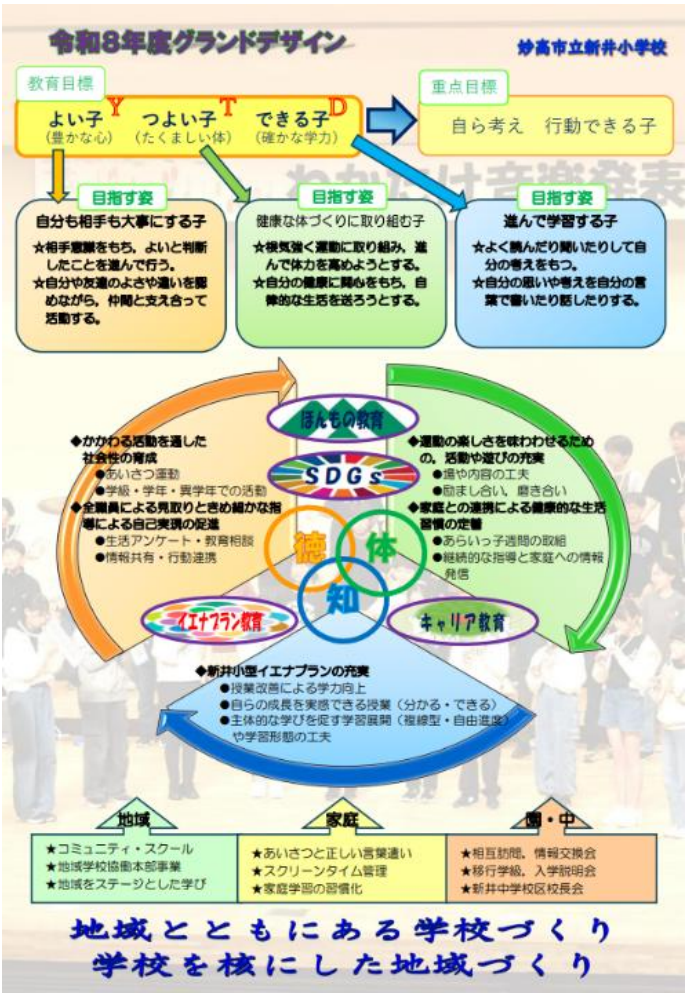
１学期の子どもたちの姿や、児童・保護者・職員のアンケート結果をもとに、「よい子（心）」「つよい子（体）」「できる子（学力）」の３部会と業務改善委員会で、これまでの取組を振り返りました。子どもたちの成長や取組の成果を確かめるとともに、さらに伸ばしていきたいことや改善が必要なことについて話し合い、２学期以降の具体的な取組を検討しました。

学校評価は、評価すること自体が目的ではなく、子どもたちのよりよい成長につなげていくためのものです。成果を大切にしながら、課題については改善を重ね、よりよい教育活動、よりよい学校づくりに努めてまいります。今後とも、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。







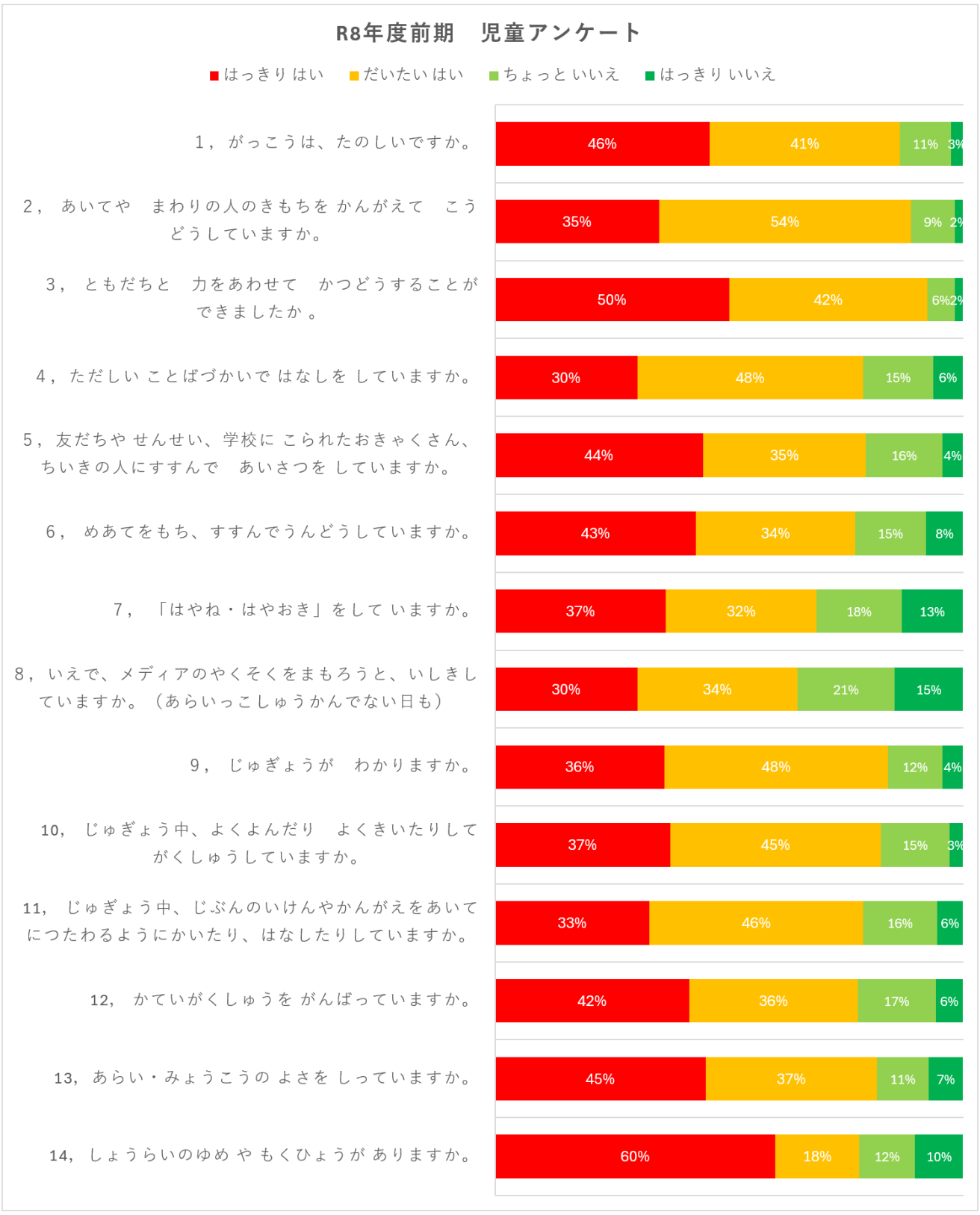








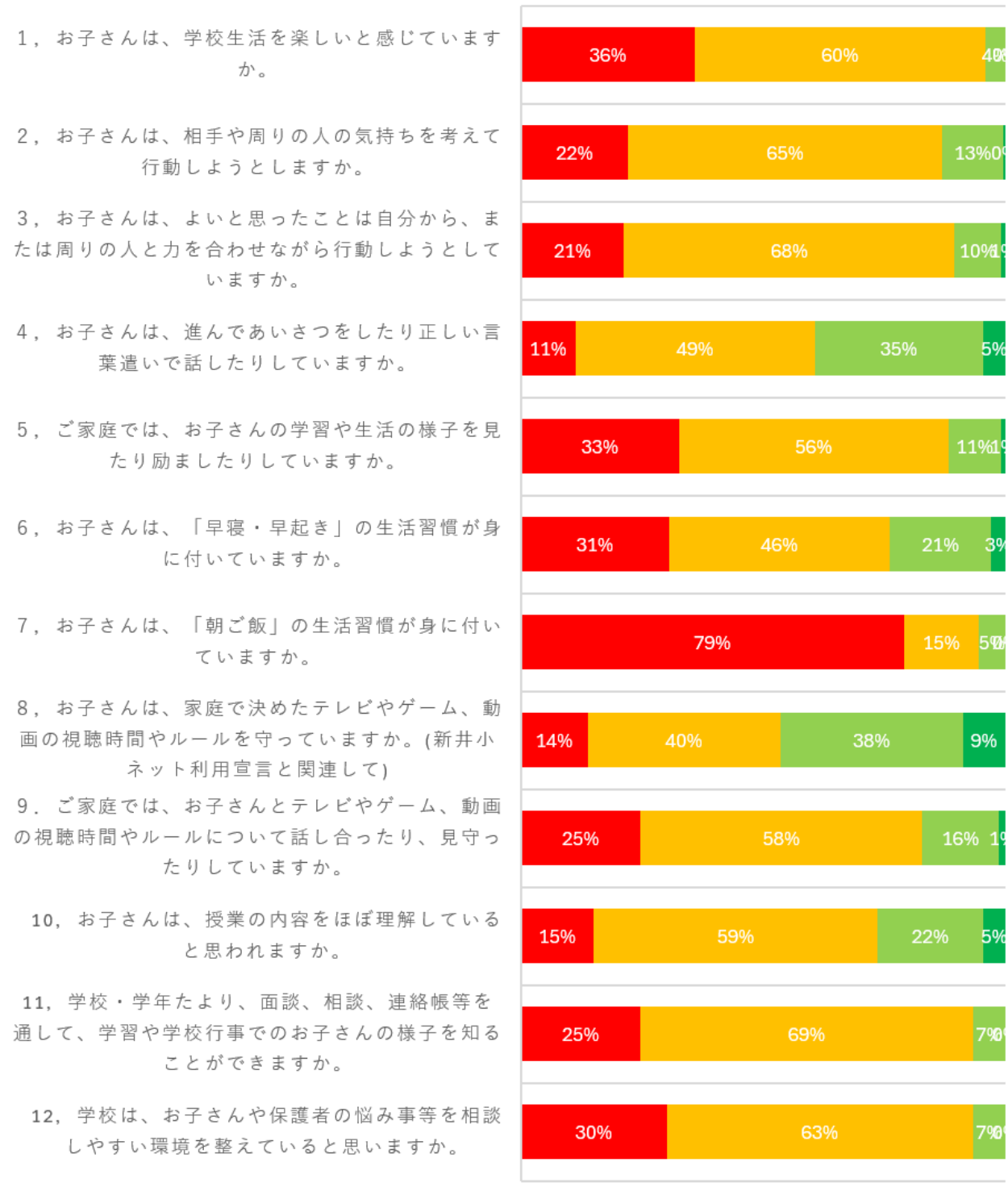
R8年度前期　児童アンケート





R８年度前期　保護者アンケート

■はっきりはい　■だいたいはい　■ちょっといいえ　■はっきりいいえ





よい子:豊かな心(自分も相手も大事にする子)



児童アンケートで肯定的評価をした児童の割合は、「学校が楽しい」87%、「相手や周りの気持ちを考えて行動できた」89%、「友達と力を合わせて活動できた」92%でした。いずれも高い数値であり、学校全体や各学級での生活指導、学校行事や各学年や各学級での特別活動等の積み重ねの結果だと考えます。一方で否定的な評価をしている児童がいます。その児童は何かしらの困り感や心配事を抱えている可能性があります。その子がどんな思いでいるのか、どんなことに困っているのかについて、これを一つのきっかけとして思いを巡らせるとともに、対応が必要な時には危機管理意識（さ：最悪を想定し、し：慎重に、す：素早く、せ：誠意をもって、そ：組織的に対応）をもって丁寧な対応を心掛けていきます。

「あいさつ・正しい言葉遣い」について、肯定的評価の割合は児童80%に対し、保護者60%と開きが見られます。学校では、職員が丁寧な言葉遣いをし、率先して挨拶を行う姿を見せ、子どもたちに大切さや価値を呼びかけていきます。地域、ご家庭でも、明るく爽やかな挨拶を交わすことができるよう、ご協力をお願いいたします。

【今後の対策】

- チクチク言葉を使わず、ふわふわ言葉を使うことを学級ごとに再確認します。
- 全校SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行い、正しい言葉遣いについて、児童と職員の共通理解を図る機会を設定します。
- ALL妙高あいさつ運動等と連動し、あいさつの醸成を図っていきます。

つよい子:たくましい体(健康な体づくりに取り組む子)



児童アンケートで肯定的評価をした児童の割合は、「めあてをもち、進んで運動していますか」77%でした。休み時間には、たくさんの児童がグラウンドや体育館、ワークスペース等で進んで体を動かして遊んだり運動をしたりしています。

「メディア」に関するアンケートでは、児童の肯定的評価は64%、保護者の肯定的評価は54%と低い数値となりました。メディアを適切にコントロールする力は、学校生活や学習、健康にもかかわる大切な力です。今後、さらに取組を進めていく必要があることが分かりました。

２学期に行う「あらいっ子週間」では、児童が自分自身の生活習慣に目を向け、よりよい生活を考える機会にしたいと思います。ご家庭でも話し合いを行っていただきますよう、ご協力をよろしくお願いします。

【今後の対策】

- 情報教育と連携し、タブレットの使い方について全校で考える機会を設定します。
- 体育の授業では、児童が主体的に活動に取り組むように、スモールステップの目標設定、をしたり、道具の工夫をしたりするなど、それぞれの活動の目的や価値を大切にしていきます。
- ２学期に「あらいっ子週間」を実施して、生活リズムや、メディアへの接し方について学校、児童、家庭それぞれで見直し、考える機会を作ります。

できる子:確かな学力(進んで学習する子)

児童アンケートで肯定的評価 をした児童の割合は、「授業が分かりますか」84%、「家庭学習をがんばっていますか」78%、「授業中、よく読んだりよく聞いたりして学習していますか」82%、「授業中、自分の意見や考えを相手に伝わるように書いたり話したりしていますか」79%でした。一人一人が主体的に学習に取り組む授業となるよう努めてきましたが、さらに学ぶ楽しさやできる喜びを実感できる授業を行い、児童の主体性を伸ばしていく必要があると考えます。また、学習環境を整えることで落ち着いてじっくり学習に取り組めるようにしていきます。

家庭学習については、習慣化と充実を目指し、各学年の発達段階に応じて方法や内容を示し取り組みます。ご理解とご協力をお願いいたします。

【今後の対策】

- 知識の習得にとどまらず、学んだことを活用する場面を意識した授業づくりに努めます。
- 子どもたちの主体性を伸ばすために、自由進度学習を取り入れた授業を行います。
- 全校で、始まりの時間、終わりの時間を守って行動することを重視します。

業務改善部会(職員からの意見 抜粋)

- 今年度から全校集会が行われるようになった。学校生活や学び方の話はもちろん大切であるが、話の聞き方、集会時の態度、学校のルールの再確認も大切であると思う。校長先生だけでなく、各部の主任の先生方からも話をいただくのはどうか。

  各行事や、〇〇月間・旬間、長期休業前等、児童が自分事ととらえられるよう、各部の主任の先生方から全校に向け話をしていただく機会を設定する。全職員で全校児童を育てていく意識をもって取り組む。

- 玄関の照明を、児童が登校後消灯しているため、休み時間や外に出る活動の時に暗い中で靴の脱ぎ履きをしている。安全のためにもいくつか照明をつけておいた方がよい。

  今年度、校舎 LED 化工事が行われることで、全体的に明るくなる。また、照明をつけることを禁止している訳ではないので、省エネをこころがけながら、必要に応じて照明をつける。

- 放課後、「原則忘れ物は取りに来ない」が徹底されつつあり、忘れ物を取りに来る児童が以前より減ってはいるが、0 ではない。その度に、会議等を中断して対応している。本当に必要なものでなければ、取りに来ないようにしてもらえないか。

  宿題についても、お便りと同様にデジタル配信していく中で取りに来なくてもよい環境を作っていきたい。本年度、先生の退勤時刻が 19 時前に早まっているので、いたしかたなく取りにくる場合は、親子で早い時間帯に来てほしいことを知らせていく。 (今後、電話対応の最終時刻【留守電切り替え時刻】の変更についても検討していく。)